

道

～夏休みにどれだけ頑張ったか、それは第2回実力テストに現れてくる～



進路講演会の話を出そう！

梅雨に逆戻りしたような雨が続いていますね。新型コロナウイルス感染者の数が、全国的に増えてきています。部活の最後の大会がまだ・・・という人は、感染対策を徹底し、大会に参加できるように万全を期してください。

現在、私立および公立高校の合同説明会や通信制高校の説明会など、開催案内が複数きていますが、インターネットによる事前登録が必要となっています。また、クラブ体験会やオープンスクールに参加する際には検温、同意書などが必要の場合もありますので、事前にきちんと確認するようにしましょう。

大阪青凌高校の先生や先輩から聞いた話をいまいちど、思い出し、この夏休みを有意義なものにしましょう！

- ・実力テストや定期テストを解けるまで解き直す。
- ・計画を立てて勉強する。
- ・夏休みに理科と社会に取り組む。
- ・高校の情報を得る。
- ・自分にあった高校を見つける。➡説明会に参加する。

そして、2学期に入れば、↓実力テストです。テスト範囲は、各教科とも、『学習したところまで』です。

実力テスト(45分)			9月1日木曜日 日置田淵
1時間目	国語		
2時間目	英語		
3時間目	社会		
4時間目	理科	※定規	
5時間目	数学	※コンパス、定規	
6時間目	学活		

保護者のみなさまへ ～奨学金申し込みの流れについて～

2学期になりましたら、大阪府育英会の予約奨学金の案内パンフレットが届きます。その後、希望者に申し込み用紙を渡しますので、必要書類をそろえて、9月中旬に提出していただきます。

進路学活でやりましたが、保護者にも読んでいただきたいので、のせておきます。

『一流大学出身』というハンデ

今までの日本は、終身雇用（一度入社した人は、よほどのことがない限り、企業はクビにしない）・年功序列（年をとるにしたがって会社での地位や給料が上がっていく）が常識であった。だから、いい高校、いい大学へ進学し、一流大学卒業というブランドを身につけ、いい会社に入ればそれで一生いい生活ができた。ところが今、そういう制度が崩れ、実力主義の世の中になってきたという。企業は本当に仕事のできる人材を求めるようになり、必ずしも有名難関大学出身者が、有能な人物とは限らないことに気づいたのだ。そこで、指定校制（うちの企業は〇〇大学出身者しか採用しませんという方針）を廃止し、入社試験の内容も、ペーパーテストの学力だけでなく、もっとほかの見方をする企業が増えてきた。具体的に言えば、どこの学校を出たかは問題にせず、そこで何を学び、何をやってきたのかを問うようになったのだ。

それについてはこんな例がある。ある会社では一流大学出身の新入社員に対して、次のような話をしたという。「おそらく君たちは一流大学へ進学するために、一生懸命勉強してきたであろう。その努力は尊いものだ。しかし、そのかわりに大切なものを犠牲にしてきたことも事実だ。しんどいクラブ活動を敬遠し、人のために働く委員会活動にも消極的で、時には当然の義務である掃除をさぼって勉強に打ち込んできた人もいるのではないか。今の会社はそのような人物は求めてはいない。時には人の中心となり、時には人の陰に回り、仲間とともに仕事を進められる人材が必要なのだ。『たとえ失敗しても、もう一度あの人と一緒に仕事がしたい。』と、人から思われるような人間性をもった人物がほしいのだ。君たちは一流大学出身という自負を持ってこの会社に就職してきたことであろう。しかし、そのことが会社ではハンデになるということを知ってもらいたい。君たちがこれからこのハンデを克服していくことを期待する。」

これは嘘のような話だが、事実あったことだという。中学3年生の君たちは、今、自分の進路決定のためにいろいろな思いを持っていることだろう。しかし、どこの高校へ入るかということが問題なのではなく、そこで何を学ぶか、何をするか問題なのだということを知っておいてもらいたい。

最後に、こんな話も聞いたので紹介しよう。

ある超一流と言われる大学を出た人が卒業式の日に、「お父さん。お母さん。今日〇〇大学を卒業し、これであなた方への義理は果たしました。明日からは自分のやりたいことをやっていきます。」と言って、翌日から服飾の専門学校に入学し、中卒・高卒の人と肩を並べて勉強したという。

世の中は確実に変わってきている。

私が大学に入ったころ、携帯電話のi-mode通信が始まり、就職活動では携帯電話に直接、企業の人事担当者から電話がかかってきました。就職活動はインターネットの普及により、『先輩訪問』が減り、『会社はネットで検索し、エントリーシートで応募する』時代になりました。その後、インターンシップ（学生のうちに就労体験すること）をする企業がだんだん増えていきました。

ここに載っている『ある会社の新入社員への話』と同じことを私の友人たちも言われたそうです。新型コロナウイルス感染症の流行により、さらに企業の採用形態や就職活動そのものも変わってきています。企業がほしい人材である「一緒に仕事をしたいと思われる人間性をもった人」になるために、高校でいろんな経験を積んで自分を磨いてほしいと思います。そのためには、高校選びをしっかりとしてほしいと思います。（タブチのつぶやき）